

「平成23年度 病虫害発生予報 第6号」の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稲では、斑点米カメムシ類の発生が多い地域が例年に比べて増えていきます。都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。
- ・ 果樹では、ぶどうべと病の発生が多くなっています。
本病は、降雨が続き気温が低めの時に発生しやすいので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。
- ・ 東日本大震災の影響等により作付けが困難となった地域では、ほ場の管理が行えないことから、雑草の繁茂等により作物を加害する病虫害が発生することが考えられます。そのため、周辺で作付けが行われる地域では、ほ場観察を綿密に行い、状況に応じて防除ができるよう病虫害の発生状況に注意してください。

水稲

- ・ **穂いもち**の発生は、東海、近畿、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
穂いもちの発生が多く上位葉に穂いもちの病斑がみられる場合は、穂いもちの発生が懸念されるので、穂ばらみ期及び穂揃い期に薬剤防除を実施してください。なお、穂いもちの発生が多いと予想される場合には、穂揃い期 7 ～ 10 日後の追加防除を実施してください。
- ・ **フタオビコヤガ**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、東北の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北陸、東海、中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本田の観察を行い幼虫の早期発見に努めるとともに、発生状況に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

- ・ **ニカメイガ**の発生は、北陸及び近畿の一部地域で「多い」、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は局所的に多発する場合があるので、本田の観察を行い、発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

- ・ **セジロウンカ**の発生は、南関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。

昨年、セジロウンカによって媒介されるウイルス病である**イネ南方黒すじ萎縮病（仮称）**の発生が、我が国で初めて確認されました。本年も本ウイルスを保毒しているセジロウンカの飛来が確認されています。

このため、セジロウンカの防除については、吸汁・産卵による被害だけでなく、ウイルス病を媒介することについても注意を払う必要があります。本田の見回り際には、稲の株元を注意深く観察し、株元に褐色の点またはすじ状の傷（産卵痕）が目立ち、成虫及び幼虫の発生が多く見られる場合は、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。

- ・ **トビイロウンカ**の発生は、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は水田に侵入後、急激に密度が上昇し、被害を起こします。本田内を注意深く観察し、水稻の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。また、今後の飛来情報に留意するとともに、本田での発生状況に十分注意してください。

- ・ **斑点米カメムシ類**の発生は、関東及び北陸の一部の地域で「多い」、東北、東海及び中国の一部の地域で「多い」又は「やや多い」、甲信、近畿、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫の防除は、休耕田、畦畔及び水田周辺の雑草管理が基本であり、出穂期の10日前までに本田周辺の草刈りを終了させてください。出穂期直前の草刈りは、本害虫の本田への飛び込みを助長し、被害を増加させるおそれがあるので、避けてください。

薬剤防除は穂揃期とその7～10日後の2回実施が標準的です。薬剤防除の適期は斑点米カメムシ類の種類構成によって異なるので、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。

大豆

- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、北陸、近畿及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

ほ場の観察を行って、本害虫による加害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 気温の上昇に伴い病虫害の動きも活発になるので、ほ場観察を行って病虫害の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に薬剤防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 気温の上昇に伴い、栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病虫害の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
 - ・ ウイルス病を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の施設内への侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。
- また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、確実に処分してください。

■ 発生が多い・やや多いと予想される病虫害及び地域

作物名／病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
キャベツ／		
アブラムシ		甲信
ネギ／		
アザミウマ類	関東	東北、東海
イチゴ／		
炭そ病	四国、九州	東海、近畿、中国
キュウリ／		
褐斑病	東北	中国
炭そ病	四国	東北
べと病	近畿	東北、近畿
トマト／		
タバコガ類		南関東、甲信、近畿、四国
ナス／		
アザミウマ類		北関東、南九州
タバコガ類	南関東	甲信、近畿
ハダニ類		関東
きく／		
アザミウマ類		東海、四国
黒斑病、褐斑病		東海、中国、南九州

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、北東北、中国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は、園地周辺の山林から飛来してくるので、例年カメムシ類の被害が多い園地や、山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。
また、飛来が認められた場合は、飛来初期からの防除を実施してください。
- ・ 東日本大震災の影響等で園地の管理が行えない地域では、病害虫の発生が多くなることが懸念されます。隣接した地域では、園内の観察をきめ細かく行い、病害虫の侵入及び発生に注意してください。

かんきつ

- ・ **かいよう病**の発生は、近畿の一部の地域で「多い」、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。
- ・ **ミカンハダニ**の発生は、南関東、東海及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
夏期はカブリダニ類等有用な土着天敵が増殖し、本害虫の密度を抑制しますが、気温が高く雨が非常に少ない天候が長く続いた場合は、本害虫が多発する場合があります。園内の観察をきめ細かく行い適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノキイロアザミウマ**の発生は、南関東、東海及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
気温が高く雨が少ない天候が続くと、本害虫の発生が助長されます。園内の観察をきめ細かく行い適期に薬剤防除を実施してください。

りんご

- ・ **斑点落葉病**の発生は、北東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、降雨時の気温が高く、降雨が続くと発病が助長されます。また、密植や徒長枝により通風や採光が悪いと発病が多くなります。徒長枝の除去等により通風や採光を確保するとともに、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、北関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。
モモシンクイガ及び**ハマキムシ類**の発生は、「平年並」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

なし

- ・ **黒星病**の発生は、北陸及び北九州の一部地域で「多い」、南東北、南関東、甲信及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉、発病果及び発病した新梢は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、散布間隔が開きすぎないように降雨の合間に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、関東、北陸及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。**ハマキムシ類**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、北陸及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

もも

- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、北陸及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。**モモシンクイガ**の発生は、北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、甲信、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

ぶどう

- ・ **べと病**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、近畿及び九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北関東、甲信、中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病果は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続く気温が低めの時に発生しやすいので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **晩腐病**の発生は、甲信及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
発病葉及び発病果粒は伝染源となるので収穫後も園地に残さず、適切に処分してください。また、本病は降雨により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

かき

- ・ **うどんこ病**の発生は、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は葉の気孔から侵入するので、薬剤防除は葉裏に十分薬液がかかるよう実施してください。
- ・ **カキノヘタムシガ**の発生は、北陸及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する成虫発生盛期及び幼虫発生時期の情報を参考に、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- 炭そ病の発生は、東海、近畿及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本病は新芽の生育初期が薬剤防除の適期になります。本病の発生状況に応じて、適期に薬剤防除を実施してください。

- チャノコカクモンハマキの発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。チャハマキの発生は、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。

これらの害虫は、成虫発生最盛日の7日後程度が薬剤防除の適期になります。地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、薬剤防除を実施してください。

- チャノミドリヒメヨコバイの発生は、東海の一部地域で「多い」、チャノキイロアザミウマの発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、チャノホソガの発生は、九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

これらの新芽加害性害虫は、夏期に連続して発生します。新芽の生育状況と害虫の発生状況をよく見極め、同一系統の薬剤の連続使用を避けた上で、適期に薬剤防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成23年7月20日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月1日	岩手県	水稻	斑点米カメムシ類

注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要が認められる場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫
7月20日	茨城県	水稻、陸稲	斑点米カメムシ類
7月20日	埼玉県	水稻	斑点米カメムシ類
7月22日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類
7月22日	宮城県	水稻	斑点米カメムシ類
7月26日	秋田県	水稻	フタオビコヤガ（イネアオムシ）
7月26日	北海道	てんさい	褐斑病
7月27日	富山県	水稻	斑点米カメムシ類

7月28日	福岡県	いちご	炭そ病
7月28日	岡山県	水稲	斑点米カメムシ類
7月28日	岩手県	りんどう	リンドウホソハマキ
7月28日	石川県	水稲	斑点米カメムシ類
7月29日	奈良県	いちご	炭そ病
7月29日	奈良県	カキ	炭そ病
8月1日	静岡県	水稲	斑点米カメムシ類
8月1日	千葉県	水稲	斑点米カメムシ類
8月2日	鳥取県	水稲	斑点米カメムシ類
8月2日	岐阜県	水稲	斑点米カメムシ類
8月3日	香川県	いちご	炭そ病
8月3日	埼玉県	水稲	フタオビコヤガ（イネアオムシ）
8月5日	長野県	果樹類	アメリカシロヒトリ
8月5日	長野県	水稲	斑点米カメムシ類
8月8日	広島県	水稲	斑点米カメムシ類
8月9日	愛知県	大豆	ハスモンヨトウ
8月10日	山形県	水稲	斑点米カメムシ類
8月10日	秋田県	水稲	斑点米カメムシ類
8月10日	宮崎県	普通期水稲	いもち病（穂いもち）

■ 特殊報

新奇な有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病虫害名
7月26日	埼玉県	トマト、ナス	クロメンガタスズメ

用語解説

■ 地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 北東北：青森県、岩手県、秋田県
- 南東北：宮城県、山形県、福島県

- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

■ 発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

■ 平成 23 年度病虫害発生予報の発表予定

- 第 1 号：4 月 21 日（木曜日）
- 第 2 号：5 月 19 日（木曜日）
- 第 3 号：6 月 16 日（木曜日）
- 第 4 号：7 月 7 日（木曜日）
- 第 5 号：7 月 21 日（木曜日）
- 第 6 号：8 月 11 日（木曜日）
- 第 7 号：9 月 8 日（木曜日）
- 第 8 号：10 月 6 日（木曜日）
- 第 9 号：11 月 10 日（木曜日）
- 第 10 号：2 月 16 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 黒谷、後藤

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-5976

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>